

## 研修医評価票 I

### 「A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価

研修医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者 氏名 \_\_\_\_\_ 区分  医師  医師以外（職種名 \_\_\_\_\_）

観察期間 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	観察 機会 なし
	期待を 大きく 下回る	期待を 下回る	期待 通り	期待を 大きく 上回る	
<b>A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与</b> 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>A-2. 利他的な態度</b> 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>A-3. 人間性の尊重</b> 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>A-4. 自らを高める姿勢</b> 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。特に、「期待を大きく下回る」とした場合は必ず記入をお願いします。

## 研修医評価票 II

### 「B. 資質・能力」に関する評価

研修医名： \_\_\_\_\_

研修分野・診療科： \_\_\_\_\_

観察者 氏名 \_\_\_\_\_ 区分  医師  医師以外（職種名 \_\_\_\_\_）

観察期間 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

#### レベルの説明

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
臨床研修の開始時点で期待されるレベル (モデル・コア・カリキュラム相当)	臨床研修の中間時点で期待されるレベル	臨床研修の終了時点で期待されるレベル (到達目標相当)	上級医として期待されるレベル

1. 医学・医療における倫理性：

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

レベル1 モデル・コア・カリキュ ラム	レベル2	レベル3 研修終了時で期待されるレベル	レベル4			
<p>■医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。</p> <p>■患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。</p> <p>■患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。</p>	人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。	人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	モデルとなる行動を他者に示す。			
	患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務を果たす。	患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	モデルとなる行動を他者に示す。			
	倫理的ジレンマの存在を認識する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。			
	利益相反の存在を認識する。	利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	モデルとなる行動を他者に示す。			
	診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	モデルとなる行動を他者に示す。			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

観察する機会が無かった

コメント：

## 2. 医学知識と問題対応能力：

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4			
<p>■必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。</p> <p>■講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。</p>	<p>頻度の高い症候について、基本的な鑑別診断を挙げ、初期対応を計画する。</p>	<p>頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。</p>	<p>主な症候について、十分な鑑別診断と初期対応をする。</p>			
	<p>基本的な情報を収集し、医学的知見に基づいて臨床決断を検討する。</p>	<p>患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。</p>	<p>患者に関する詳細な情報を収集し、最新の医学的知見と患者の意向や生活の質への配慮を統合した臨床決断をする。</p>			
	<p>保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。</p>	<p>保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。</p>	<p>保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、患者背景、多職種連携も勘案して実行する。</p>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

観察する機会が無かった

コメント：

### 3. 診療技能と患者ケア：

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4			
<p>■必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。</p> <p>■基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。</p> <p>■問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。</p> <p>■緊急を要する病態、慢性疾患、に関して説明ができる。</p>	<p>必要最低限の患者の健康状態に関する情報を心理・社会的側面を含めて、安全に収集する。</p>	<p><b>患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。</b></p>	<p>複雑な症例において、患者の健康に関する情報を心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。</p>			
	<p>基本的な疾患の最適な治療を安全に実施する。</p>	<p><b>患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。</b></p>	<p>複雑な疾患の最適な治療を患者の状態に合わせて安全に実施する。</p>			
	<p>最低限必要な情報を含んだ診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切に作成する。</p>	<p><b>診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。</b></p>	<p>必要かつ十分な診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成でき、記載の模範を示せる。</p>			
□	□	□	□	□	□	□

□ 観察する機会が無かった

コメント：

#### 4. コミュニケーション能力：

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4			
<p>■コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。</p> <p>■良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。</p> <p>■患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。</p> <p>■患者の要望への対処の仕方を説明できる。</p>	<p>最低限の言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。</p>	<p>適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。</p>	<p>適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで、状況や患者家族の思いに合わせた態度で患者や家族に接する。</p>			
	<p>患者や家族にとって必要最低限の情報を整理し、説明できる。指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。</p>	<p>患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。</p>	<p>患者や家族にとって必要かつ十分な情報を適切に整理し、分かりやすい言葉で説明し、医学的判断を加味した上で患者の主体的な意思決定を支援する。</p>			
	<p>患者や家族の主要なニーズを把握する。</p>	<p>患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。</p>	<p>患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、統合する。</p>			
□	□	□	□	□	□	□

観察する機会が無かった

コメント：

## 5. チーム医療の実践：

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4
<p>■チーム医療の意義を説明でき、（学生として）チームの一員として診療に参加できる。</p> <p>■自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求めることができる。</p> <p>■チーム医療における医師の役割を説明できる。</p>	<p>単純な事例において、医療を提供する組織やチームの目的等を理解する。</p>	<p><b>医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。</b></p>	<p>複雑な事例において、医療を提供する組織やチームの目的とチームの目的等を理解したうえで実践する。</p>
	<p>単純な事例において、チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。</p>	<p><b>チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。</b></p>	<p>チームの各構成員と情報を積極的に共有し、連携して最善のチーム医療を実践する。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった			

コメント：

6. 医療の質と安全管理 :

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4
<p>■医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる</p> <p>■医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる</p> <p>■医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる</p>	医療の質と患者安全の重要性を理解する。	医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	医療の質と患者安全について、日常的に認識・評価し、改善を提言する。
	日常業務において、適切な頻度で報告、連絡、相談ができる。	日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	報告・連絡・相談を実践するとともに、報告・連絡・相談に対応する。
	一般的な医療事故等の予防と事後対応の必要性を理解する。	医療事故等の予防と事後の対応を行う。	非典型的な医療事故等を個別に分析し、予防と事後対応を行う。
	医療従事者の健康管理と自らの健康管理の必要性を理解する。	医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。	自らの健康管理、他の医療従事者の健康管理に努める。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

観察する機会が無かった

コメント :



## 7. 社会における医療の実践：

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4
<p>■離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。</p> <p>■医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。</p> <p>■災害医療を説明できる</p> <p>■（学生として）地域医療に積極的に参加・貢献する</p>	保健医療に関する法規・制度を理解する。	保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解し、実臨床に適用する。
	健康保険、公費負担医療の制度を理解する。	医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。	健康保険、公費負担医療の適用の可否を判断し、適切に活用する。
	地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解する。	地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。	地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案・実行する。
	予防医療・保健・健康増進の必要性を理解する。	予防医療・保健・健康増進に努める。	予防医療・保健・健康増進について具体的な改善案などを提示する。
	地域包括ケアシステムを理解する。	地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	地域包括ケアシステムを理解し、その推進に積極的に参画する。
	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要が起こりうることを理解する。	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。	災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要を想定し、組織的な対応を主導する実際に対応する。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 観察する機会が無かった			
コメント：			

## 8. 科学的探究：

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4
<p>■研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。</p> <p>■生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。</p>	医療上の疑問点を認識する。	医療上の疑問点を研究課題に変換する。	医療上の疑問点を研究課題に変換し、研究計画を立案する。
	科学的研究方法を理解する。	科学的研究方法を理解し、活用する。	科学的研究方法を目的に合わせて活用実践する。
	臨床研究や治験の意義を理解する。	臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。	臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床で協力・実施する。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

観察する機会が無かった

コメント：

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢：

医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム	レベル2	レベル3 研修終了時に期待されるレベル	レベル4			
<p>■生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	<p>急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。</p>	<p><b>急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。</b></p>	<p>急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収のために、常に自己省察し、自己研鑽のために努力する。</p>			
	<p>同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。</p>	<p><b>同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。</b></p>	<p>同僚、後輩、医師以外の医療職と共に研鑽しながら、後進を育成する。</p>			
	<p>国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）の重要性を認識する。</p>	<p><b>国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握する。</b></p>	<p>国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握し、実臨床に活用する。</p>			
<p><input type="checkbox"/></p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p><input type="checkbox"/></p>

観察する機会が無かった

コメント：

## 研修医評価票 Ⅲ

### 「C. 基本的診療業務」に関する評価

研修医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者 氏名 \_\_\_\_\_ 区分  医師  医師以外（職種名 \_\_\_\_\_）

観察期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

記載日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

レベル	レベル1 指導医の直接の監督の下 でできる	レベル2 指導医がすぐに対応で きる状況下 でできる	レベル3 ほぼ単独 でできる	レベル4 後進を指 導できる	観察 機会 なし
<b>C-1. 一般外来診療</b> 頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C-2. 病棟診療</b> 急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域連携に配慮した退院調整ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C-3. 初期救急対応</b> 緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>C-4. 地域医療</b> 地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

印象に残るエピソードがあれば記述して下さい。

## 臨床研修の目標の達成度判定票

研修医氏名: \_\_\_\_\_

### A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)

到達目標	達成状況: 既達/未達	備 考
1.社会的使命と公衆衛生への寄与	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2.利他的な態度	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3.人間性の尊重	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4.自らを高める姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

### B. 資質・能力

到達目標	既達/未達	備 考
1.医学・医療における倫理性	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2.医学知識と問題対応能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3.診療技能と患者ケア	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4.コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
5.チーム医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
6.医療の質と安全の管理	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
7.社会における医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
8.科学的探究	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

### C. 基本的診療業務

到達目標	既達/未達	備 考
1.一般外来診療	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2.病棟診療	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3.初期救急対応	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4.地域医療	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

臨床研修の目標の達成状況

既達

未達

(臨床研修の目標の達成に必要な条件等)

年 月 日

黒石病院臨床研修プログラム・プログラム責任者 \_\_\_\_\_

## 研修医に対する評価表(参考)

A: 充分達成 B: ほぼ達成 C: やや不十分 D: 全く不十分 \* : 評価できない

	評価項目	A	B	C	D	*
	患者・家族に誠実に接する					
	日常的な挨拶をする					
	身だしなみが適切である					
	礼儀正しい					
	規律を守る					
	安全管理マニュアルを守る					
	清潔管理マニュアルを守る					
	診療情報記載マニュアルを守る					
	その他の規則を守る					
	時間・約束を守る					
	責任感をもって行動する					
	節度のある行動をとる					
	明朗な態度でまわりが明るくなる					
	常に職員同士とのコミュニケーションを忘れない					
	報告・連絡・相談を的確にする					
	仕事の処理が的確である					
	遅滞なく診療情報を診療録に記載する					
	遅滞なく患者サマリーを記載する					
	必要に応じてリーダーシップを発揮する					
	状況に応じて慎重に行動する					
	カンファレンスConf. への参加が積極的である					
	Conf. や回診時のプレゼンテーションが適切である					
	医学知識の修得に積極的である(EBMを含む)					
	技能の修得に積極的である					
	望ましい態度・マナーを培おうとしている					
	日常生活の自己管理を怠らない					
フリーコメント						
	医師としての適正					

研修医氏名 \_\_\_\_\_

診療科 \_\_\_\_\_ 科 研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

評価者氏名 \_\_\_\_\_

## 指導医に対する評価表(参考)

A:とてもよい B:よい C:あまりよくない D:とてもよくない \*:評価できない

評価項目		A	B	C	D	*
ロールモデルとしての役割	患者・家族に誠実な態度で接する					
	患者・家族と適切にコミュニケーションする					
	患者の抱える健康問題の把握が適切である					
	臨床判断の思考の進め方が適切である					
	倫理的配慮が適切である					
	総合的判断が適切である					
	患者の問題解決法を的確に計画立案する					
	医学知識が豊富である					
	医療技術に優れている					
	望ましい診療態度・マナーである					
	医療チームメンバーと適切にコミュニケーションする					
	自己の継続的な生涯研修の姿勢が備わっている					
人としての生き方が望ましい						
指導方法	POSに則してplanningをするように勧める					
	研修医の情報収集方法(医療面接, 身体診察)を確認する					
	研修医の収集した情報の内容(病歴, 所見)を確認する					
	新患について研修医の考えassessmentを聞く					
	プロブレムリストを確認する					
	新患について研修医のplanを聞く					
	指導医と食い違いがなければ, 研修医のplanを採用する					
	食い違ったら, なぜ食い違ったかを研修医自身が考えるようにする					
	知識不足の補い方や推論の進め方を研修医自身が考えるようにする					
	本日の研修医自身が考える行動プランを確認する					
	受け持ち患者についての考えを確認する					
	不適切な考えやプランがあればディスカッション/フィードバックする					
研修医の患者・家族とのコミュニケーションの様子を確認する						
研修医の医療チームとのコミュニケーションの様子を確認する						
コミュニケーションに問題があればディスカッション/フィードバックする						
指導医の配慮能力	研修医の心身の状態に配慮する					
	研修目標を常に念頭において指導する					
	形成的評価を繰り返し(よい点をほめ, 改善点を指摘)フィードバックする					
	フィードバックの流れと仕方が適切である					
	プログラム責任者と適切に連携する					
	研修医の後輩(研修医, 学生)への教育的関わりを支援する					
教育能力の向上を常に心がけている						
教育・研修関連のFDIに積極的に参加する						

評価年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

評価者 ( ) 研修医 ( ) 指導医 ( ) 他の医療職 ( ) プログラム責任者  
 ( ) 事務職 ( ) 患者・家族 ( ) 管理者 ( ) その他( )

## 症例レポート

患者氏名： \_\_\_\_\_ 男・女 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生 \_\_\_\_\_ 歳

病 院 名： \_\_\_\_\_ 診 療 科： \_\_\_\_\_

入 院 期 間： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

受け持ち期間： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

診 断 名：

到達目標における該当項目

頻度の高い症状                      症状名： \_\_\_\_\_

経験が求められる疾患・病態      疾患・病態名： \_\_\_\_\_

外 科 症 例（手術例）

診断、治療および経過の概要、本例から学んだ点、問題点等

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 指導医氏名 \_\_\_\_\_

（スペースが不足する場合は裏面も利用してください）



## 各科における看護師による研修医評価

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 病棟・診療科名 \_\_\_\_\_ 病棟 \_\_\_\_\_ 階 \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

A. 基本的事項	a	b	c	d	NA
1. 医師としてふさわしい身だしなみ、服装。					
2. 医師としてふさわしい言葉遣い、挨拶、礼儀正さ。					

B. 患者・家族への接し方	a	b	c	d	NA
1. いつも穏やかに思いやりをもって接している。					
2. わかりやすい言葉で説明している。					
3. 患者や家族の話をよく聞き、心理・社会的な問題点も把握しようとしている。					
4. 守秘義務やプライバシーに配慮している。					

C. 日常診療内容・態度	a	b	c	d	NA
1. 病棟の規則や流れにそって行動できる。					
2. 入院から退院まで一連の流れが理解できる。					
3. 報告、連絡、相談を的確にする。					
4. 受け持ち患者の状態を把握し、検査結果や治療方針等をスタッフに説明できる。					
5. 物品を効率的に使用できる。					
6. 責任感がある。					
7. 積極的で向上心がある。					
8. 感染管理について理解している。					
9. 安全管理について理解している。					
10. 指導医とコミュニケーションをとっている。					
11. 診療録をきちんと記載しており、第三者がみても読みやすくわかりやすい。					

a. とても良い、b. 良い、c. 普通である、d. 良くない、問題あり、NA. 評価できない

D. 優れている点や改善すべき点、努力して欲しい点など：

看護師長（評価者）氏名 \_\_\_\_\_

\* 評価後は臨床研修担当者へ提出して下さい。

## 地域医療研修（研修医による自己評価、指導者・プログラム評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 研修

施設名 \_\_\_\_\_

### I. 自己評価

	a	b	c	d	NA
1. 地域医療の現場を体験できた。					
2. 診療所の診療に必要な基本的な臨床能力を理解できた。					
3. 診療所や地域の医療スタッフの役割を理解できた。					
4. 大学病院での研修では経験できない魅力があった。					
5. 在宅医療、病診連携、患者教育、医療の社会性などに対する認識が深まった。					

### II. 指導者・プログラム評価

	a	b	c	d	NA
1. 研修を行う基本的な体制が整っている。					
2. 研修開始にあたっての説明やオリエンテーションがあった。					
3. 指導に熱意があった（感じられた）。					
4. 適切に指導とフィードバックがあった。					

- a. とても良い（強くそう思う） b. 良い（そう思う） c. 普通（まあまあそう思う）  
 d. これでは困る（全く思わない） NA. 評価できない、わからない

### III. 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など

\* 評価後は臨床研修担当者へ提出して下さい。

## 地域医療研修（指導医による研修医評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 研修施設名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

I. 基本的態度	a	b	c	d	NA
1. 社会人としての常識、医師としてのマナーを身につけている。					
2. 積極的な研修態度である。					
3. 患者・家族には常に穏やかに接している。					
4. コメディカル・スタッフと協調して仕事ができる。					

II. 基本的知識・技能	a	b	c	d	NA
1. 研修を通じて地域医療を行う上で必要な基本的知識を修得した。					
2. 基本的な診察ができる。					
3. 患者、家族へわかりやすい説明ができる。					
4. 診療録や各種書類の適切な記載を理解している。					
5. 問題解決型の思考ができる。					
6. 患者の倫理的問題、社会的問題に配慮することができ、それらの対応策について意見を述べるができる。					

a. とても良い（強くそう思う）    b. 良い（そう思う）    c. 普通（まあまあそう思う）  
 d. これでは困る（全く思わない）    NA. 評価できない、わからない

IV. 優れている点

V. 改善すべき点

VI. 大学へのご意見・ご要望など（弘前大学からの研修医の場合）

指導医（評価者）氏名 \_\_\_\_\_

\* 評価後は臨床研修担当者へ提出して下さい。

## 地域医療研修（看護師等による研修医評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 施設名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

### I. 一般的な態度

	a	b	c	d	NA
1. 医師として相応しい、挨拶、言葉遣い、礼儀正しさ、服装					
2. 時間に正確である。					

### II. 患者とその家族に対して

	a	b	c	d	NA
1. いつも穏やかに思いやりを持って接している。					
2. よく話を聴いている。					
3. わかり易い言葉で説明している。					

### III. 医療チームの一員として

	a	b	c	d	NA
1. 指導医とのコミュニケーションが良好である。					
2. コメディカル・スタッフとのコミュニケーションが良好である。					
3. 当施設の特徴や地域における役割を理解している。					
4. このような医師なら将来再び一緒に仕事をしてみたいと思う。					

- a. とても良い（強くそう思う） b. 良い（そう思う） c. 普通（まあまあそう思う）  
 d. これでは困る（全く思わない） NA. 評価できない、わからない

### IV. 優れている点

### V. 今後に期待する点、努力してほしい点

### VI. 研修医を受け入れてみての感想、困った点や大学病院（弘前大学からの研修医の場合）への要望等をご記入ください。

評価者名（職種） \_\_\_\_\_

\* 評価後は臨床研修担当者へ提出して下さい。

## 地域保健研修（研修医による自己評価、指導者・プログラム評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

研修施設名 \_\_\_\_\_

### I. 自己評価

	a	b	c	d	NA
1. 地域保健の現場を体験できた。					
2. 保健活動に必要な基本的な臨床能力を理解できた。					
3. 地域保健のスタッフの役割を理解できた。					
4. 保健や福祉関係機関との連携の必要性について理解できた。					
5. 大学病院での研修では経験できない魅力があった。					
6. 在宅医療、病診連携、患者教育、医療の社会性などに対する認識が深まった。					

### II. 指導者・プログラム評価

	a	b	c	d	NA
1. 研修を行う基本的な体制が整っている。					
2. 研修開始にあたっての説明やオリエンテーションがあった。					
3. 指導に熱意があった（感じられた）。					
4. 適切に指導とフィードバックがあった。					

- a. とても良い（強くそう思う） b. 良い（そう思う） c. 普通（まあまあそう思う）  
 d. これでは困る（全く思わない） NA. 評価できない、わからない

### III. 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など

\* 評価後は臨床研修担当者へ提出して下さい。

## 地域保健研修(指導医による研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 研修施設名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

I. 基本的態度	a	b	c	d	NA
1. 社会人としての常識、医師としてのマナーを身につけている。					
2. 積極的な研修態度である。					
3. 地域保健担当者には常に穏やかに接している。					
4. 保健所スタッフと協調して仕事ができる。					

II. 基本的知識・技能	a	b	c	d	NA
1. 地域保健との連携の必要性について理解できる。					
2. 保健師等の他職種の役割および行政の役割を理解し、適切に連携できる。					
3. 各種保健医療制度を理解し、公費負担申請書等の書類を作成できる。					
4. 保健行政における各種書類の記載を理解している。					
5. 問題解決型の思考ができる。					
6. 患者の倫理的問題、社会的問題に配慮することができ、それらの対応策について意見を述べることができる。					

a. とても良い(強くそう思う)    b. 良い(そう思う)    c. 普通(まあまあそう思う)  
 d. これでは困る(全く思わない)    NA. 評価できない、わからない

IV. 優れている点

V. 改善すべき点

VI. 大学へのご意見・ご要望など(弘前大学からの研修医の場合)

指導医(評価者)氏名 \_\_\_\_\_

\* 評価後は臨床研修担当者へ提出して下さい。

## 地域保健研修（保健師等による研修医評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 施設名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

I. 一般的な態度	a	b	c	d	NA
1. 医師として相応しい、挨拶、言葉遣い、礼儀正しさ、服装					
2. 時間に正確である。					

II. 患者とその家族に対して	a	b	c	d	NA
1. いつも穏やかに思いやりを持って接している。					
2. よく話を聴いている。					
3. わかり易い言葉で説明している。					

III. 地域保健チームの一員として	a	b	c	d	NA
1. 指導者とのコミュニケーションが良好である。					
2. 保健所スタッフとのコミュニケーションが良好である。					
3. 当施設の特徴や地域における役割を理解している。					
4. このような医師なら将来再び一緒に仕事をしてみたいと思う。					

a. とても良い（強くそう思う） b. 良い（そう思う） c. 普通（まあまあそう思う）  
d. これでは困る（全く思わない） NA. 評価できない、わからない

IV. 優れている点

V. 今後に期待する点、努力してほしい点

VI. 研修医を受け入れてみての感想、困った点や大学病院（弘前大学からの研修医の場合）への要望等をご記入ください。

評価者名（職種） \_\_\_\_\_

\* 評価後は臨床研修担当者へ提出して下さい。

## 医事会計係研修評価(研修医による評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1. 医療機関	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 医療機関の種類について										
2) 病院の組織について										

2. 医事会計係業務	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 外来業務の流れについて										
2) 入院業務の流れについて										
3) 保険請求業務について										
4) 統計業務について										

3. 医療保険制度	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 保険診療について										
2) 保険給付について										
3) 療養担当規則について										

4. 診療報酬点数表	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 医科点数表と構成										
2) 出来高・包括払い(DPC)の違い										
3) 保険請求事務										
4) 特定療養費制度										
5) 公費などの医療負担について										

研修医自己評価

担当者・研修内容の評価

a : 十分できる      b : まあまあ出来る  
c : あまり出来ない      d : 全く出来なかった

a : とても良い、強くそう思う      b : 良い、そう思う  
c : 普通、まあまあそう思う  
d : 良くない、これでは困る 問題あり

NA: 該当なし(評価を受けなかった、経験しなかった)

NA: 評価できない、わからない

5. 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など

\* 評価後は研修担当者に提出してください。



## 医事会計係研修評価(指導者による研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1. 医療機関	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 医療機関の種類について					
2) 病院の組織について					

2. 医事課業務	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 外来業務の流れについて					
2) 入院業務の流れについて					
3) 保険請求業務について					
4) 統計業務について					

3. 医療保険制度	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 保険診療について					
2) 保険給付について					
3) 療養担当規則について					

4. 診療報酬点数表	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 医科点数表と構成					
2) 出来高・包括払い(DPC)の違い					
3) 保険請求事務					
4) 特定療養費制度					
5) 公費などの医療負担について					

指導者よる評価

a : とても良い(強くそう思う)

b : 良い(そう思う)

c : 普通(まあまあそう思う)

d : 良くない、これでは困る 問題あり

NA: 評価できない、わからない

5. 優れている点 :

6. 今後に期待する点、努力してほしい点

指導者（評価者）氏名\_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

## リハビリテーション科研修（研修医による評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間      年      月      日      ～      年      月      日

A. 研修および指導体制	a	b	c	d	NA
1. 研修を行う基本的な体制が整っている					
2. 研修開始にあたっての説明やオリエンテーションがあった。					
3. 指導に熱意があった（感じられた）。					
4. 適切に指導とフィードバックがあった。					

B. 自己評価	a	b	c	d	NA
1. リハ医師の仕事の内容と、果たすべき役割について理解できた。					
2. 理学療法、作業療法の内容を理解できた。					
3. 主な筋の筋力の評価ができる。					
4. ADL評価の結果と介護度の関係を説明できる。					
5. 患者の機能の基礎的な問題点が呈示できる。					

a. とても良い、非常にそう思う    b. 良い、そう思う    c. 普通、まあまあ  
d. 良くない、思わない    NA. 評価できない、わからない

C. 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など：

\* 評価後は研修担当者に提出してください。

## リハビリテーション科研修（指導者による研修医評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間      年      月      日      ～      年      月      日

A. 基本的事項	a	b	c	d	NA
1. 社会人としての常識					
2. 医師として相応しい挨拶、言葉遣い、礼儀正しさ服装					

B. 患者とその家族に対して	a	b	c	d	AN
1. いつも穏やかに思いやりを持って接している					
2. よく話を聴いている					
3. わかり易い言葉で説明している					

C. 医療チームの一員として	a	b	c	d	NA
1. 指導医とのコミュニケーションが良好である					
2. コメディカル・スタッフとのコミュニケーションが良好である					
3. 当施設の特徴や地域における役割を理解している					

D. 研修内容	a	b	c	d	NA
1. リハ医師の仕事の内容と、果たすべき役割について説明できる					
2. 理学療法、作業療法の内容を理解し説明できる					
3. 主な筋の筋力の評価ができる					
4. ADL評価の結果と介護度の関係を説明できる					
5. 患者の機能の基礎的な問題点が呈示できる					

a. とても良い    b. 良い    c. 普通である    d. 良くない、問題あり    NA. 評価できない

E. 優れている点：

F. 今後に期待する点、努力してほしい点：

指導者（評価者）氏名 \_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

## 栄養科研修評価表(研修医用)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間      年      月      日      ~      年      月      日

I. 病 院 食 管 理 研 修	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1. 栄養素から食品への、献立作成を理解する										
2. 病院食の分類、選択など、約束食事箋を理解する										
3. 食事指示箋から喫食に至るまでの流れを理解する										

II. 栄 養 管 理 研 修	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1. 栄養科的栄養アセスメントを理解する										
2. 個人栄養食事指導システムを理解する										
3. 集団栄養食事指導システムを理解する										

III. マ ネ ジ メ ン ト 研 修	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1. 衛生管理等栄養科トータルマネジメントを理解する										
2. コストパフォーマンスを理解する										

IV. そ の 他 研 修	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1. チーム医療における栄養科の役割を理解する										
2. フードサービスの実際を理解する										

研修医自己評価

- a : 十分できる
- b : まあまあ出来る
- c : あまり出来ない
- d : 全く出来なかった
- NA: 該当なし

(評価を受けなかった、該当科では経験しなかった等)

担当者・研修内容の評価

- a : とても良い、強くそう思う
- b : 良い、そう思う
- c : 普通、まあまあそう思う
- d : 良くない、これでは困る 問題あり
- NA: 評価できない、わからない

V. 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など:、

\* 評価後は研修担当者に提出してください。

## 栄養科研修評価表(指導管理栄養士用)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

I. 病院食管理研修	指導管理栄養士による評価				
	a	b	c	d	NA
1. 栄養素から食品への、献立作成を理解する					
2. 病院食の分類、選択など、約束食事箋を理解する					
3. 食事指示箋から喫食に至るまでの流れを理解する					

II. 栄養管理研修	指導管理栄養士による評価				
	a	b	c	d	NA
1. 栄養科的栄養アセスメントを理解する					
2. 個人栄養食事指導システムを理解する					
3. 集団栄養食事指導システムを理解する					

III. マネジメント研修	指導管理栄養士による評価				
	a	b	c	d	NA
1. 衛生管理等栄養科トータルマネジメントを理解する					
2. コストパフォーマンスを理解する					

IV. その他研修	指導管理栄養士による評価				
	a	b	c	d	NA
1. チーム医療における栄養科の役割を理解する					
2. フードサービスの実際を理解する					

指導管理栄養士による評価

- a : とても良い(強くそう思う) b : 良い(そう思う) c : 普通(まあまあそう思う)  
d : 良くない、これでは困る 問題あり NA: 評価できない、わからない

V. ・優れている点:

VI. 今後に期待する点、努力してほしい点:

指導者(評価者)氏名\_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。



## 薬剤科研修評価(研修医による評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間      年    月    日    ~    年    月    日

1. 調剤業務（注射調剤も含む） 処方箋に関する事項を習得し、処方するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 処方箋に関する法的規制を学び、処方箋の記載ができる。										
2) 処方薬がどのように調剤され、交付されるかを習得する。										
3) 患者への服薬指導ができる。										

2. 薬品管理業務 薬品の保管、在庫管理を理解するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 薬品の保管、在庫管理について理解する。										
2) 毒薬等の適正な保管、管理について理解する。										
3) 特定生物由来製品の保管、管理を理解する。										

3. 麻薬及び向精神薬の管理業務 麻薬・向精神薬の管理を習得するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 麻薬・向精神薬に関する法的規制を習得する。										
2) 麻薬・向精神薬の保管、管理を習得する。										

4. DI(Drug Information)業務 医薬品情報業務を習得するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 医薬品情報の収集、整理、保管および情報の分析と専門的評価について習得する。										
2) 医薬品に関する情報の伝達、質疑に対する情報提供を習得する。										

5. 薬剤管理指導業務 薬剤管理指導を理解するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
薬剤管理指導を理解する。										

6. 製剤業務 製剤業務を理解するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
一般・特殊製剤の調製を理解する。										

7. 薬物治療モニタリング(TDM) TDMについて習得するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
TDMの必要性を学び、シュミレーションし、解析できる。										

8. 治験薬管理業務 治験薬管理業務を習得するために	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
医薬品の臨床試験と市販後調査の適正な実施法を習得する。										

研修医自己評価

- a : 十分できる
- b : まあまあ出来る
- c : あまり出来ない
- d : 全く出来なかった
- NA: 該当なし

(評価を受けなかった、該当科では経験しなかった 等)

担当者・研修内容の評価

- a : とても良い、強くそう思う
- b : 良い、そう思う
- c : 普通、まあまあそう思う
- d : 良くない、これでは困る 問題あり
- NA: 評価できない、わからない

9. 研修を通じて良かった点、印象に残った点、困った点など :

\* 評価後は研修担当者に提出してください。

## 薬剤科研修評価(指導薬剤師による研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間      年      月      日      ~      年      月      日

1. 調剤業務（注射調剤も含む） 処方箋に関する事項を習得し、処方するために	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 処方箋に関する法的規制を学び、処方箋の記載ができる。					
2) 処方薬がどのように調剤され、交付されるかを習得する。					
3) 患者への服薬指導ができる。					

2. 薬品管理業務 薬品の保管、在庫管理を理解するために	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 薬品の保管、在庫管理について理解する。					
2) 毒薬等の適正な保管、管理について理解する。					
3) 特定生物由来製品の保管、管理を理解する。					

3. 麻薬及び向精神薬の管理業務 麻薬・向精神薬の管理を習得するために	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 麻薬・向精神薬に関する法的規制を習得する。					
2) 麻薬・向精神薬の保管、管理を習得する。					

4. DI(Drug Information)業務 医薬品情報業務を習得するために	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 医薬品情報の収集、整理、保管および情報の分析と専門的評価について習得する。					
2) 医薬品に関する情報の伝達、質疑に対する情報提供を習得する。					

5. 薬剤管理指導業務 薬剤管理指導を理解するために	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA
薬剤管理指導を理解する。					

6. 製剤業務 製剤業務を理解するために 一般・特殊製剤の調製を理解する。	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA
7. 薬物治療モニタリング(TDM) TDMについて習得するために TDMの必要性を学び、シュミレーションし、解析できる。	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA

8. 治験薬管理業務 治験薬管理業務を習得するために 医薬品の臨床試験と市販後調査の適正な実施法を習得する。	指導薬剤師による評価				
	a	b	c	d	NA

指導薬剤師による評価

a : とても良い(強くそう思う)

b : 良い(そう思う)

c : 普通(まあまあそう思う)

d : 良くない、これでは困る 問題あり

NA: 評価できない、わからない

9. 優れている点:

10. 今後に期待する点、努力してほしい点:

指導者（評価者）氏名 \_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

## 診療放射線科研修評価(研修医による評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間    年    月    日    ~    年    月    日

研 修 内 容	研修医自己評価	担当者・研修内 容の評価
1)一般撮影		
患者様との対応	a b c d NA	a b c d NA
検査内容の説明	a b c d NA	a b c d NA
撮影技術	a b c d NA	a b c d NA
2)造影X線検査		
食道、胃、大腸	a b c d NA	a b c d NA
3)CT検査		
撮影技術	a b c d NA	a b c d NA
造影剤の静注	a b c d NA	a b c d NA
画像処理	a b c d NA	a b c d NA
4)MRI検査		
撮影技術	a b c d NA	a b c d NA
造影剤の静注	a b c d NA	a b c d NA
画像処理	a b c d NA	a b c d NA
5)血管撮影		
撮影技術	a b c d NA	a b c d NA
造影剤注入の準備	a b c d NA	a b c d NA
画像処理	a b c d NA	a b c d NA
6)ガンマナイフ		
ガンマナイフの原理	a b c d NA	a b c d NA
フレーム固定技術	a b c d NA	a b c d NA
治療計画	a b c d NA	a b c d NA
画像診断	a b c d NA	a b c d NA
7)放射線防護と健康管理		
医療被ばく低減法	a b c d NA	a b c d NA
放射線防護の原則	a b c d NA	a b c d NA

研修医自己評価

- a :十分できる
- b :まあまあ出来る
- c :あまり出来ない
- d :全く出来ない

NA:該当なし(評価を受けなかった、該当科では経験しなかった等)

担当者・研修

内容の評価

- a :とても良い、強くそう思う
- b :良い、そう思う
- c :普通、まあまあそう思う
- d :良くない、これでは困る、問題あり

NA:評価出来ない、わからない

9) 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など:

\* 評価後は研修担当者に提出してください。

## 診療放射線科研修評価(担当指導者による研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間      年      月      日 ~      年      月      日

研 修 内 容	担当指導者による評価
1)一般撮影	
患者様との対応	a   b   c   d   NA
検査内容の説明	a   b   c   d   NA
撮影技術	a   b   c   d   NA
2)造影X線検査	
食道、胃、大腸	a   b   c   d   NA
3)CT検査	
撮影技術	a   b   c   d   NA
造影剤の静注	a   b   c   d   NA
画像処理	a   b   c   d   NA
4)MRI検査	
撮影技術	a   b   c   d   NA
造影剤の静注	a   b   c   d   NA
画像処理	a   b   c   d   NA
5)血管撮影	
撮影技術	a   b   c   d   NA
造影剤注入の準備	a   b   c   d   NA
画像処理	a   b   c   d   NA
6)ガンマナイフ	
ガンマナイフの原理	a   b   c   d   NA
フレーム固定技術	a   b   c   d   NA
治療計画	a   b   c   d   NA
画像診断	a   b   c   d   NA
7)放射線防護と健康管理	
医療被ばく低減法	a   b   c   d   NA
放射線防護の原則	a   b   c   d   NA

- a :とても良い、強くそう思う
- b :良い、そう思う
- c :普通、まあまあそう思う
- d :良くない、これでは困る、問題あり
- NA:評価出来ない、わからない

9) 優れている点 :

10) 今後に期待する点、努力してほしい点

指導者（評価者）氏名\_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。



## 臨床検査科研修評価（研修医による評価）

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間      年    月    日    ~    年    月    日

研 修 内 容	研修医自己評価	指導者・研修内容 の評価
1) 検体受付、検体処理		
○用途別抗凝固剤について	a b c d NA	a b c d NA
○依頼伝票と検体のチェック	a b c d NA	a b c d NA
○検査システムへの入力と確認	a b c d NA	a b c d NA
○至急・緊急検査への対応	a b c d NA	a b c d NA
○外注検査への対応	a b c d NA	a b c d NA
2) 一般検査		
◎尿定性検査	a b c d NA	a b c d NA
◎尿沈渣鏡検	a b c d NA	a b c d NA
◎便検査(潜血、虫卵)	a b c d NA	a b c d NA
◎髄液検査(有核細胞数算定、化学的性状)	a b c d NA	a b c d NA
3) 血液検査		
○分析機の操作	a b c d NA	a b c d NA
◎血算とデータの解釈	a b c d NA	a b c d NA
◎白血球分画(細胞分類とデータの解釈)	a b c d NA	a b c d NA
○凝固・線溶系検査	a b c d NA	a b c d NA
○骨髓穿刺検査(有核細胞数算定、細胞分類)	a b c d NA	a b c d NA
4) 輸血検査		
◎血液型判定(ABO式、Rh式)	a b c d NA	a b c d NA
◎交差適合試験(手技、結果解釈)	a b c d NA	a b c d NA
5) 生理検査		
○患者との適切な対応	a b c d NA	a b c d NA
◎心電図(12誘導)検査と波形の判読	a b c d NA	a b c d NA
○負荷心電図検査(マスター、トレッドミル)	a b c d NA	a b c d NA
○ホルター心電図(電極装着、データ解析)	a b c d NA	a b c d NA
◎肺機能検査(機械操作、結果解釈)	a b c d NA	a b c d NA
○フォーム検査	a b c d NA	a b c d NA
○脳波検査	a b c d NA	a b c d NA
6) 動脈血ガス分析		
◎分析機の操作(プライム、洗浄など)	a b c d NA	a b c d NA
◎測定と結果解釈	a b c d NA	a b c d NA

7) 血液生化学的検査		
◎分析機の操作	a b c d NA	a b c d NA
◎分析結果の解釈	a b c d NA	a b c d NA
8) 血液免疫血清学的検査		
◎分析機の操作	a b c d NA	a b c d NA
◎分析結果の解釈	a b c d NA	a b c d NA
◎感染症関連検査(迅速検査、その他)	a b c d NA	a b c d NA
◎TM マーカー・ホルモン検査、その他	a b c d NA	a b c d NA
9) 細菌検査		
◎検体の採取・前処理	a b c d NA	a b c d NA
◎塗抹(グラム染色、抗酸菌染色)	a b c d NA	a b c d NA
◎培養・同定・薬剤感受性検査	a b c d NA	a b c d NA
10) 細胞診・病理組織検査		
◎検体の採取・前処理	a b c d NA	a b c d NA
◎病理標本作製過程の理解(HE 染色、特殊染色)	a b c d NA	a b c d NA
◎鏡検	a b c d NA	a b c d NA
○病理解剖介助	a b c d NA	a b c d NA

#### 研修医自己評価

- a : 十分出来る  
b : まあまあ出来る  
c : あまり出来ない  
d : 全く出来ない  
NA : 該当なし(評価を受けなかった、該当科では経験しなかった 等)

#### 担当者・研修内容の評価

- a : とても良い、強くそう思う  
b : 良い、そう思う  
c : 普通、まあまあそう思う  
d : 良くない、これでは困る、問題あり  
NA : 評価出来ない、わからない

11) 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など:

\* 評価後は研修担当者に提出してください。

## 臨床検査科研修評価(指導者による研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

研 修 内 容	指導者による評価
1) 検体受付、検体処理	
○用途別抗凝固剤について	a b c d NA
○依頼伝票と検体のチェック	a b c d NA
○検査システムへの入力と確認	a b c d NA
○至急・緊急検査への対応	a b c d NA
○外注検査への対応	a b c d NA
2) 一般検査	
◎尿定性検査	a b c d NA
◎尿沈渣鏡検	a b c d NA
◎便検査(潜血、虫卵)	a b c d NA
◎髄液検査(有核細胞数算定、化学的性状)	a b c d NA
3) 血液検査	
○分析機の操作	a b c d NA
◎血算とデータの解釈	a b c d NA
◎白血球分画(細胞分類とデータの解釈)	a b c d NA
○凝固・線溶系検査	a b c d NA
○骨髓穿刺検査(有核細胞数算定、細胞分類)	a b c d NA
4) 輸血検査	
◎血液型判定(ABO 式、Rh 式)	a b c d NA
◎交差適合試験(手技、結果解釈)	a b c d NA
5) 生理検査	
○患者との適切な対応	a b c d NA
◎心電図(12誘導)検査と波形の判読	a b c d NA
○負荷心電図検査(マスター、トレッドミル)	a b c d NA
○ホルター心電図(電極装着、データ解析)	a b c d NA
◎肺機能検査(機械操作、結果解釈)	a b c d NA
○フォーム検査	a b c d NA
○脳波検査	a b c d NA
6) 動脈血ガス分析	
◎分析機の操作(プライム、洗浄など)	a b c d NA
◎測定と結果解釈	a b c d NA
7) 血液生化学的検査	
◎分析機の操作	a b c d NA

◎分析結果の解釈	a b c d NA
8) 血液免疫血清学的検査	
◎分析機の操作	a b c d NA
◎分析結果の解釈	a b c d NA
◎感染症関連検査(迅速検査、その他)	a b c d NA
◎TM マーカー・ホルモン検査、その他	a b c d NA
9) 細菌検査	
◎検体の採取・前処理	a b c d NA
◎塗抹(グラム染色、抗酸菌染色)	a b c d NA
◎培養・同定・薬剤感受性検査	a b c d NA
10) 細胞診・病理組織検査	
◎検体の採取・前処理	a b c d NA
◎病理標本作製過程の理解(HE 染色、特殊染色)	a b c d NA
◎鏡検	a b c d NA
○病理解剖介助	a b c d NA

指導者による評価

a : 充分できる b : まあまあできる c : あまりできない d : 全くできない

NA : 評価できない、わからない

11) 優れている点 :

12) 今後に期待する点、努力して欲しい点 :

指導者(評価者)氏名\_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

## 病院の理念・医療安全管理・院内感染対策研修評価(研修医による評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修日時 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

	研修医自己評価					指導者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 病院の理念の必要性について理解できる。										
2) 黒石病院の理念について理解できる。										
3) 病院・医師としての倫理について理解できる。										
4) 患者さんの権利と義務について述べるができる。										
5) インフォームド・コンセント (I.C) を行う際の一般的な事項について述べるができる。										
6) I.Cで求められる範囲について述べるができる。										
7) 患者さんの自己決定権について理解できる。										
8) 医療安全管理の概念について理解できる。										
9) 医療事故や医療紛争発生時の対応について理解できる。										
10) 院内感染予防対策について理解できる。										

### 研修医自己評価

- a : 充分できる
- b : まあまあできる
- c : あまりできない
- d : 全くできない
- NA : 該当なし

### 担当者・研修内容の評価

- a : とてもよい、強くそう思う
- b : よい、そう思う
- c : 普通、まあまあそう思う
- d : よくない、問題あり
- NA : 評価できない、わからない

11) 研修を通じてよかった点、印象に残った点、困った点など :

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

## 病院の理念・医療安全管理・院内感染対策研修評価(指導者の研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修日時 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 病院の理念の必要性について理解できる。					
2) 黒石病院の理念について理解できる。					
3) 病院・医師としての倫理について理解できる。					
4) 患者さんの権利と義務について述べることができる。					
5) インフォームド・コンセント (I.C) を行う際の一般的な事項について述べることができる。					
6) I.Cで求められる範囲について述べることができる。					
7) 患者さんの自己決定権について理解できる。					
8) 医療安全管理の概念について理解できる。					
9) 医療事故や医療紛争発生時の対応について理解できる。					
10) 院内感染予防対策について理解できる。					

指導者による評価

a : 充分できる                      b : まあまあできる                      c : あまりできない  
d : 全くできない                      NA : 評価できない、わからない

11) 優れている点、今後に期待する点、努力して欲しい点など

指導者 (評価者) 氏名 \_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

## 看護局研修評価(研修医による評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 病棟・診療科名 \_\_\_\_\_ 病棟 \_\_\_\_\_ 階 \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

研 修 内 容	研修医自己評価	指導者による評価
<b>A. 身体の清潔</b>		
1. 清拭・洗髪・口腔ケア・寝具交換・褥創予防	a b c d NA	a b c d NA
2. 排泄(便・尿)の介助・陰部洗浄・おむつ交換	a b c d NA	a b c d NA

<b>B. 食事の世話</b>		
1. 食事介助・摂取量の観察・経管栄養・配膳下膳	a b c d NA	a b c d NA

<b>C. 身の回りの世話</b>		
1. ベッドメイキング・着衣の交換・保温・ クーリング・環境整備	a b c d NA	a b c d NA
2. 体位変換・移乗・移送操作・転倒転落予防	a b c d NA	a b c d NA

<b>D. 記録</b>		
1. 看護計画・フローシート・指示箋・オーダーリング入力	a b c d NA	a b c d NA
2. 患者の書類の取扱い	a b c d NA	a b c d NA

<b>E. 物品管理</b>		
1. 物品の請求・受領・管理	a b c d NA	a b c d NA
2. 回診車・救急カートの整備・看護用具・医療器具の整備	a b c d NA	a b c d NA
3. ME機器の管理	a b c d NA	a b c d NA

<b>F. 薬剤業務</b>		
1. 薬剤の請求・受領・管理・分包・与薬	a b c d NA	a b c d NA
2. 点滴注射の指示受け・準備・ミキシング・ 点滴注射の実行・サイン	a b c d NA	a b c d NA
3. 持続点滴の管理	a b c d NA	a b c d NA

G. 看護師の勤務時間		
日勤 8 時 15 分～17 時・準夜 16 時 15 分～1 時・深夜 0 時 15 分～9 時		
1. 各勤務帯における看護業務の実際を理解する	a b c d NA	a b c d NA
2. チーム医療における看護の役割を理解する	a b c d NA	a b c d NA

研修自己評価

- a : 充分出来る
- b : まあまあ出来る
- c : あまりできない
- d : 全く出来ない
- NA : 該当なし

担当者・研修内容の評価

- a : とても良い、強くそう思う
- b : 良い、そう思う
- c : 普通、まあまあそう思う
- d : 良くない、これでは困る、問題あり
- NA : 評価出来ない、わからない

(評価を受けなかった、該当科では経験しなかった等)

E. 研修を通じて良かった点、印象に残った点、困った点など

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。



## 看護局研修評価(担当指導者による研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 病棟・診療科名 \_\_\_\_\_ 病棟 \_\_\_\_\_ 階 \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

研 修 内 容	指導者による評価
<b>A. 身体の清潔</b>	
1. 清拭・洗髪・口腔ケア・寝具交換・褥創予防	a b c d NA
2. 排泄（便・尿）の介助・陰部洗浄・おむつ交換	a b c d NA
<b>B. 食事の世話</b>	
1. 食事介助・摂取量の観察・経管栄養・配膳下膳	a b c d NA
<b>C. 身の回りの世話</b>	
1. ベッドメイキング・着衣の交換・保温・クーリング・環境整備	a b c d NA
2. 体位変換・移乗・移送操作・転倒転落予防	a b c d NA
<b>D. 記録</b>	
1. 看護計画・フローシート・指示箋・オーダーリング入力	a b c d NA
2. 患者の書類の取扱い	a b c d NA
<b>E. 物品管理</b>	
1. 物品の請求・受領・管理	a b c d NA
2. 回診車・救急カートの整備・看護用具・医療器具の整備	a b c d NA
3. ME機器の管理	a b c d NA
<b>F. 薬剤業務</b>	
1. 薬剤の請求・受領・管理・分包・与薬	a b c d NA
2. 点滴注射の指示受け・準備・ミキシング・点滴注射の実行・サイン	a b c d NA
3. 持続点滴の管理	a b c d NA

G. 看護師の勤務時間 日勤 8 時 15 分～17 時・準夜 16 時 15 分～1 時・深夜 0 時 15 分～9 時	
1. 各勤務帯における看護業務の実際を理解する	a b c d NA
2. チーム医療における看護の役割を理解する	a b c d NA

指導者による評価

a : 充分できる b : まあまあできる c : あまりできない d : 全くできない NA : 評価できない、わからない

看護師長（評価者）氏名\_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

## 診療記録管理室研修評価(研修医による評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1. 診療情報管理概論	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 診療情報の管理の実際についての理解										
2) 用語の定義について										
3) 診療記載記録と保存についての法令										

2. 診療録の記載	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 診療記録の意義と診療情報の価値について										
2) 記録の意義についての理解										

3. 退院時要約の記載について	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) 退院時要約の構成内容の理解										

4. ICDコーディング、DPCについての説明	研修医自己評価					担当者・研修内容評価				
	a	b	c	d	NA	a	b	c	d	NA
1) ICDコードについて										
2) DPCについて										
3) コーディングについて										

研修医自己評価

a, b, c, d, NAはこれまでと同じ

担当者・研修内容の評価

a, b, c, d, NAはこれまでと同じ

5. 研修を通じて良かった点、印象に残ったこと、困った点など：

\* 評価後は研修担当者に提出してください。

## 診療記録管理室研修評価(指導者による研修医評価)

研修医氏名 \_\_\_\_\_

研修期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1. 診療情報管理概論	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 診療情報の管理の実際についての理解					
2) 用語の定義について					
3) 診療記載記録と保存についての法令					

2. 診療録の記載	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 診療記録の意義と診療情報の価値について					
2) 記録の意義についての理解					

3. 退院時要約の記載について	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) 退院時要約の構成内容の理解					

4. ICDコーディング、DPCについての説明	指導者による評価				
	a	b	c	d	NA
1) ICDコードについて					
2) DPCについて					
3) コーディングについて					

指導者による評価

a : とても良い(強くそう思う)      b : 良い(そう思う)      c : 普通(まあまあそう思う)  
 d : 良くない、これでは困る 問題あり      NA: 評価できない、わからない

5. 優れている点や今後に期待する点、努力して欲しい点

指導者(評価者)氏名 \_\_\_\_\_

\* 評価後は研修担当者へ提出して下さい。

# 黒石市国民健康保険黒石病院 卒後臨床研修

## CPC（臨床病理検討会）レポート

研修医氏名 \_\_\_\_\_ 印 提出日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
病理解剖施行病院 黒石市国民健康保険黒石病院 (病理解剖番号 \_\_\_\_\_ )  
患者死亡年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 曜日) 午前・午後 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
病理解剖施行日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 曜日) 当該臨床科 \_\_\_\_\_  
主治医 \_\_\_\_\_ 病理解剖担当医 \_\_\_\_\_  
CPC 開催日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

臨床指導医 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
病理解剖担当医 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
病理指導医 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
研修責任者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

※レポートは本原稿をコピーするか、自身のパソコンか、雛型（word ファイル）を用いて、

I～Vの各項目について適切な内容で作成して下さい。

雛型（word ファイル）を利用する先生は下記、問い合わせ先まで連絡して下さい。

【問い合わせ先およびレポート提出先】

臨床検査科（病理検査担当） 四釜

内線：215 E-mail：

kbyouri@r20.7-dj.com

## CPCレポート

### I. 臨床経過および検査所見

[症例]                                  歳                                  男 ・ 女                                  職業

[主訴]

[家族歴]

[既往歴]

[現病歴]

[現症]

[検査成績および画像所見]

[臨床経過]

[臨床診断]

[臨床的問題点(病理解剖で明らかにしたい点)]

## Ⅱ. 病理所見

[肉眼所見]

[組織所見]

## Ⅲ. 病理解剖診斷



#### IV. 臨床的問題点を含めた討議内容および考察

#### V. 総括

## VI. 評価

研修内容	研修医自己評価	指導医評価
1. 臨床指導医による評価項目		(氏名 )
1) 病理解剖の手続き、法的問題を説明できたか	a b c d NA	a b c d NA
2) 遺族から病理解剖承認を得る態度は適切であったか	a b c d NA	a b c d NA
2. 病理指導医による評価項目		(氏名 )
1) 病理解剖前に臨床経過と臨床的問題点を病理に適切に説明できたか	a b c d NA	a b c d NA
2) 病理解剖室での態度は適切であったか	a b c d NA	a b c d NA
3) 病理医の述べる肉眼所見を適切に用紙に記入できたか	a b c d NA	a b c d NA
4) CPCの資料は適切なものを用意できたか	a b c d NA	a b c d NA
5) CPCレポート内容は適切であったか		
(1) 臨床経過のまとめ	a b c d NA	a b c d NA
(2) 病理所見のまとめ	a b c d NA	a b c d NA
(3) 病理診断	a b c d NA	a b c d NA
(4) 臨床上的問題点とそれに対する考察	a b c d NA	a b c d NA
(5) 考按	a b c d NA	a b c d NA
6) その他特記すべき事項		

### 研修医評価

a: 十分できた

b: まあまあ出来た

c: あまり出来ない

d: 全く出来ない

NA: 該当なし(評価をうけなかった、経験しなかった等)

### 指導医の評価

a: とても良い、強くそう思う

b: 良い、そう思う

c: 普通、まあまあそう思う

d: 良くない、これでは困る、問題あり

NA: 評価できない、わからない